

武蔵工業大学後援会誌

Mi-GOM

No. 22

2000-8



体育祭。5月17～19日の3日間、
新緑の武蔵工大キャンパスはスポーツ一色に染まる。
クラス、クラブ、研究室単位等で得点を競い合い、
めざすは、優勝旗とピールの栄冠(缶)!

後援会会長就任のご挨拶



武蔵工業大学後援会 会長
中山安男

この度、五艘前会長のご退任により会長に就任いたしました。

武蔵工業大学の後援会は、学生たちのより充実した学生生活を支援するため

に、1988年に発足し、初代金原会長をはじめ、ご父母、学校関係者の方々のご支援とご尽力により今日のような立派な後援会に至りました。現在の会員数は4,444名で72%の方々の加入をいただいております。

学生においては学業は当然のこととして、課外活動や学園祭などのキャンパスのあらゆるシーンにおいて熱中できる学園生活は一生涯の友を得る場でもあり、社会的常識を身につける場でもあると思います。人の器は、周りのどれだけのひとが支えてくれるかで決まるといえます。若いときに気の合った仲間がいれば孤立

することも孤独になることもなく有意義で楽しい時間を過ごすことが出来るでしょう。

現代の情報化の流れは生活を便利にもするが、現実と仮想世界の判断がつかない青少年を生み出しています。研究や課外活動で仲間と汗をかき、語りあうことで真の友情と人格が形成され、社会人としてまた国際人として育っていくものと信じております。

後援会は

1. 正課外教育活動に対する援助
 2. 学生生活に対する援助
 3. 緊急奨学金制度
 4. 大学と父母との連絡会の開催
 5. 会報の発行
- 等の事業を行います。

将来も学生たちが有意義な学園生活を送れるよう後援会活動を充実発展させていくことが重要です。小さな蓄積はやがて大きな力となるように、ご父母の皆様方のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。



平成12年度 評議員会が開催される

武蔵工業大学後援会の平成12年度評議員会が平成12年5月27日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館311教室において役員、評議員99名(うち委任出席31名)の出席のもとに開催されました。

評議員会は五艘会長の開会の挨拶で始まり、役員及び今年度新しく評議員に就任された22名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明に基づいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。



受付風景



あいさつする堀川学長



議長の五艘会長と浅野学生部長

武蔵工業大学後援会 平成12年度評議員会

平成12年5月27日(土)
世田谷キャンパス311教室
(五島記念館1階)

- 1.開会の辞 五艘会長
- 2.新評議員の紹介
- 3.報告事項
平成12年度後援会入会者数及び会員数について
- 4.議事
第1号議案 平成11年度 事業報告について
第2号議案 平成11年度 決算報告について
第3号議案 平成12年度 事業計画(案)について
第4号議案 平成12年度 予算(案)について
第5号議案 平成12年度 役員候補者について
- 5.その他
- 6.閉会の辞 中山副会長



審議風景

【1】事業

1. 正課外教育援助

主な課外活動への援助

学生団体連合会への援助

平成11年度、学生団体連合会への課外活動の援助金として1,400万円を援助した。

同好会連合及び学科研究会連合に課外活動援助金として935,000円を援助した。

「課外活動に対する補助制度」の一般援助は、55件(同好会及び個人含む)に総額6,155,611円を援助した。

主な援助

- (1) 試合結果が優秀につき奨励補助としてラグビー部、ゴルフ部等に対し援助。
- (2) 天文研究会に対しプラネタリウム用補助投影装置作成費の補助。
- (3) 全日本パラグライダー選手権に好成績を残したスカイスポーツ同好会に対し奨励補助として援助。
- (4) 連盟主催リーダー講習会に参加するワンダーフォーゲル部に対し参加経費の補助。
- (5) 国際交流チャリティーコンサートに出演した吹奏楽団に対し経費の補助。
- (6) ラグビー部に対し全国大会への出場経費の一部補助。

他

学生行事に対する援助

- (1) 体育会主催の体育祭への援助。
- (2) 学生団体連合会主催によるMI-TECH横浜祭の運営資金を援助。
- (3) 文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助。
- (4) 学生団体連合会主催によるMI-TECH祭の運営資金を援助。

他

強化団体指定による援助

平成11年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助。

学生顕彰

- (1) 大学の学生表彰(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈。
- (2) 在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、13

名に「後援会長賞」を授与・表彰した。

学生の生活指導に対する援助

- (1) 全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助。(1団体1名を義務付け、65名が参加)

- (2) 留学生研修会に対して援助

2. 「大学と父母との連絡会」への援助と協力

全国24会場で開始された「大学と父母との連絡会」の費用の一部を負担。

東京及び横浜会場においては五艘会長が後援会を代表して挨拶。(平成11年9月 地方会場においては、評議員の方々に会の運営等にご協力をいただいた。

3. 大学行事への協力

平成11年度入学式に黒崎会長が来賓として出席し祝辞。(平成11年4月)

学校法人五島育英会傘下の後援会合同後援会懇親会に五艘会長、中山副会長、原田会計監査が出席。(平成11年6月)

平成11年度学生表彰授賞式に五艘会長、安部副会長、中山副会長が出席し、五艘会長が課外活動奨励賞を授与。(平成12年2月)

平成11年度学位授与式に五艘会長が来賓として出席し、「後援会長賞」の授与。(平成12年3月)

4. 学生厚生援助

図書館前のオープン・カフェに鉢植え(20鉢)を寄贈。世田谷キャンパスのAコートテラスへ学生の休息用としてガーデンチェア(38脚)を寄贈。

5. 後援会緊急奨学金

会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、今年度は、2名に対し総額129万円を貸与(平成11年11月)

6. 会誌の発行

後援会の会誌「Mi-Com」20号(平成11年8月)と21号(平成12年1月)を刊行し、会員へ送付。

7. マイテック・フレッシュマン・キャンプに対する援助

平成11年4月7・8日(環境情報学部)、平成11年4月13・14日(工学部)に実施された新入生を対象とした研修行事に対して援助。

8. 入会案内等の送付

平成11年度入学者のうち、未入会の父母宛に再度

入会案内を送付。(平成11年4月)
 平成12年1月末までの平成12年度入学手続完了者の
 父母宛に入会案内を送付。(平成12年2月)
 平成12年度入学手続の一次手続完了の父母宛に入
 会案内を送付。(平成12年3月)
 平成12年度入学手続の最終締切日までに手続完了
 の父母宛に入会案内を送付。(平成12年3月)

9.その他
 学生(会員)等の死去に際し、香典・花環等を供えた。
 大学へ「課外活動奨励賞」の候補者の推薦依頼。
 大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼。

【2】運 営

1.理事会

平成11年5月15日(土)

平成11年度評議員会提出案件の審議。

平成11年11月20日(土)

平成11年度の(1)事業経過、(2)入会者数について、(3)
 「大学と父母との連絡会」の結果などに関する審議。
 平成11年度の主要会議日程、役員候補者選考、入
 会案内書送付等に関する審議。なお当日、理事会
 終了後、顧問の堀川清司学長のほか、大学関係者
 との懇談会が行われた。

2.評議員会

平成11年5月29日(土)

平成10年度の事業報告、決算報告及び平成11年度の
 事業計画案、予算案、役員候補者についての審議。
 後援会緊急奨学金規定についての審議、後援会課
 外活動表彰規定(案)についての審議。なお、当日
 は評議員会に先立って、新たをお願いする評議員
 の方々の学内見学を行い、また評議員会終了後
 は大学教職員と懇談会が行われた。

3.会計監査

平成11年4月24日(土)

高橋、原田両会計監査により、平成10年度の会計監
 査を実施。

4.その他

後援会の事務担当者の採用

(アルバイト 平成11年4月～平成12年3月)

(専任 平成11年4月～平成12年3月)

平成12年度 後援会会員数 (平成12年5月24日現在)

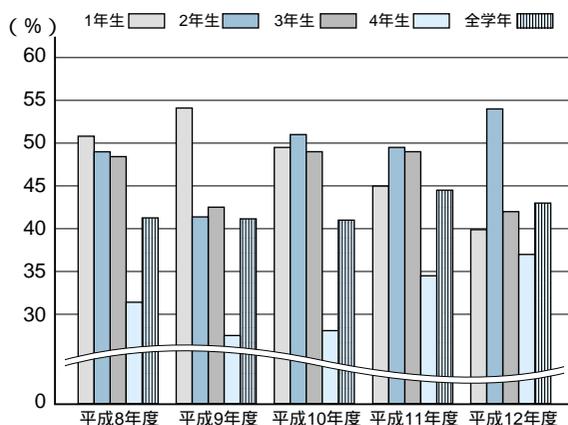
組織	工 学 部										環境情 報学部	合計
	機械	機械 システム	電気 電子	電子 通信	電子 情報	建築	土木	経営	IT 基礎	環境 情報		
1年生	105	73	100	85	49	80	81	78	39	141	831	
2年生	115	78	73	99	79	113	114	84	52	180	987	
3年生	97	83	100	96	67	96	94	123	47	156	959	
4年生	166	95	170	132	60	135	114	152	43	169	1236	
合計	483	329	443	412	255	424	403	437	181	646	4013	

組織	大 学 院							合計
	専攻 機械	生産 機械	電気	建築	土木	経営	原子力	
修博 合計	56	47	178	66	44	25	15	431

平成11年度「後援会長賞」受賞者

氏名	主な功績	進路先
野村 靖(機 械)	文化団体連合会 本部長	ヤマハ発動機㈱
山崎 譲(機 械)	フンデリングスキー同好会 会長	㈱ユニシアジェックス
伊藤友彦(機 械)	体育会 役員	トッパン・フォームズ㈱
千原健史(機 械)	機親会 会長	武蔵工業大学大学院(機械修)
中山竜太郎(電気電子)	ヨット部 主将	日本ハム㈱
林 伸一(電子通信)	MI-TECH横浜実行委員会 実行委員長	㈱アルファシステムズ
森田 篤(電子通信)	体育会 役員	ソニーシステムサービス㈱
打矢潤市(建 築)	如学会 会長	武蔵工業大学大学院(建築修)
藪内貴英(建 築)	MI-TECH横浜祭実行委員会 実行委員長	武蔵工業大学大学院(建築修)
請地 淳(土 木)	学生団体連合会 執行委員長	㈱協和エクシオ
山口雅史(土 木)	吹奏楽団 団長	㈱技研製作所
丸山 透(経 営)	アイスホッケー部 主将	その他
赤澤卓真(経 営)	ラグビー部 主将	キヤノテック㈱

過去5年間の在学生クラブ加入率



平成11年度 決算書

平成11年4月1日～平成12年3月31日

科 目	平成11年度予算	平成11年度決算	差 異	備 考
(収入の部)	(円)	(円)	(円)	
1.会 費	46,300,000	50,650,000	4,350,000	新入生の加入者
2.奨学金返済収入	884,000	885,000	1,000	奨学金返済金
3.雑 収 入	400,000	339,539	60,461	利息収入
4.前年度繰越金	10,020,720	10,020,720	0	
収入の合計	57,604,720	61,895,259	4,290,539	
(支出の部)				
事業費	46,360,000	37,200,287	9,159,713	
5.正課外教育援助費	28,860,000	23,115,997	5,744,003	下表の「正課外教育援助費内訳」を参照
6.父母連絡会費	3,400,000	2,916,490	483,510	全国各地で年1回大学と共催
7.大学行事協力費	3,000,000	4,626,500	1,626,500	体育祭、MI-TECH祭(学園祭)等
8.学生厚生援助費	3,000,000	379,300	2,620,700	厚生設備等への援助
9.奨学資金費	3,000,000	1,290,000	1,710,000	緊急奨学金
10.会報発行費	3,000,000	2,772,000	228,000	後援会広報誌の作成(2回)
11.新入生研修行事費	2,100,000	2,100,000	0	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運営費	7,730,000	7,058,962	671,038	
12.事務 費	3,900,000	4,399,051	499,051	人件費、事務委託費、消耗品費
13.会 議 費	1,500,000	1,158,693	341,307	理事会、評議員会
14.印刷・通信費	600,000	368,770	231,230	通知、案内の郵送、印刷代
15.旅費・交通費	1,200,000	1,111,083	88,917	地方評議員、役員の旅費
16.備 品 費	500,000	0	500,000	後援会関係の備品、什器
17.雑 費	30,000	21,365	8,635	振込手数料等
予備費	1,500,000	493,077	1,006,923	
特別会計	2,000,000	5,000,000	3,000,000	
18.後援会基本積立	0	0	0	将来の事業拡大のため
19.記念事業費積立	1,000,000	2,000,000	1,000,000	大学創立記念事業協力
20.学生事故対策援助費積立	1,000,000	3,000,000	2,000,000	学生事故対策として1000万円まで積立
21.特別課外活動援助費積立	0	0	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	57,590,000	49,752,326	7,837,674	
次年度繰越金	14,720	12,142,933	12,128,213	
支出の合計	57,604,720	61,895,259		

正課外教育援助費内訳

科 目	平成11年度予算	平成11年度決算	差 異	援 助 対 象
正課外教育援助費	28,860,000	23,115,997	5,744,003	
課外活動援助費	27,360,000	22,407,277	4,952,723	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用。(オ)は強化指定団体制度により運用
(ア)学団連援助	(14,000,000)	(14,000,000)	(0)	学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	(1,260,000)	(935,000)	325,000	学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一般援助	(9,200,000)	(6,155,611)	3,044,389	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	(2,000,000)	(416,666)	1,583,334	スプリング・フェスティバル、水泳大会、ミュージック・フェスティバル等
(オ)団体強化援助	(900,000)	(900,000)	(0)	強化指定団体
学生顕彰費	700,000	550,620	149,380	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	800,000	158,100	641,900	リーダー教育、救命法講習会受講料援助、学生の国際交流指導等

平成12年度 事業計画

【1】事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより一層の活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う。

課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による援助を行う。
学生団体連合会へ課外活動の援助金を支給。
学生団体連合会へ準加盟の同好会及び学科研究会の連合団体へ組織運営のための援助金を支給。

* 以下の2項目については、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見を受けて援助を行う。

「課外活動に対する補助制度」による一般援助。
課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等のための援助。
学生行事への援助

スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル、水泳大会、公開企画、特別行事等に対する援助。

強化団体指定による援助

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助。(関東リーグ3部以上相当：関東ランキング24位前後以上を目安)

その他の援助

シャトルバス運行の援助

学生顕彰

学生表彰授賞式において、「課外活動奨励賞」を与える。
学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名に「後援会長賞」を与える。

学生生活指導

学生の生活指導に対する援助。
(リーダーズ研修会、救命法講習会の受講、外国人留学生を含む国際交流活動、学生の就職活動などの費用と援助)

2. 「大学と父母との連絡会」の開催

大学と共催し、全国各地において「大学と父母との連絡会」を開催する。今年度は、本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)を含め26会場で開催する。本学会場は、平成12年9月30日(土)を予定。

3. 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

平成12年5月27日(土)の評議員会終了後の懇談会を大学教職員と後援会役員等の出席で開催された。

4. 大学行事への協力

大学及び学生が主催する大学行事、企画への援助協力。
(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)

5. 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備充実のための援助。(学生利用施設)

6. 緊急奨学金の貸与

会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与。

7. 会報の発行

後援会の会報誌「Mi-Com」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる。

8. 新入生研修行事「フレッシュマン・キャンプ」への援助

毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助。

【2】運営

1. 会議

理事会 2回 平成12年5月13日(土)
平成12年11月25日(土) 予定

評議員会 1回 平成12年5月27日(土)

2. 後援会の業務を担当する事務担当者(専任及び、アルバイト)の採用

(期間 平成12年4月1日～平成13年3月31日)

武蔵工業大学後援会への入会のお願い

武蔵工業大学後援会は、全在学生の父母を正会員として構成され、大学の教育方針に則り、大学と父母の連携を緊密にして子女の修学、学生生活の向上を助け、その他大学を後援してその発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として、学生の課外活動への援助や夏休み期間中に実施される「大学と父母との連絡会」などの各種後援事業を行っております。

特に、ご子女の入学後直ぐに実施されます新入生研修行事への援助事業や会員の家計急変に対応するための「緊急奨学金制度」は、着実に実効を上げております。

未入会の方におかれましては、以上の趣旨にご賛同の上、是非本会に入会され、子女の修学をはじめ、大学を後援する各種事業にご協力いただきたく、ここにお願い申し上げます。

武蔵工業大学後援会
会長 中山安男

入会に際しての
お問い合わせ先

武蔵工業大学後援会 事務局
TEL: (03) 3703-3111 内線 2006 2185
メールアドレス: mkoenkai@adm.musashi-tech.ac.jp

平成12年度 予算

科 目	平成12年度予算	備 考
(収入の部)	(円)	
1. 会 費	44 850 000	新入生の加入者
2. 奨 学 金 返 済 収 入	704 000	奨学金返済金
3. 雑 収 入	110 000	利息収入
4. 前 年 度 繰 越 金	12 142 933	
収入の合計	57 806 933	
(支出の部)		
事業費	47 070 000	
5. 正 課 外 教 育 援 助 費	29 570 000	下表の「正課外教育援助費内訳」を参照
6. 父 母 連 絡 会 費	3 400 000	全国各地で年1回大学と共催
7. 大 学 行 事 協 力 費	3 000 000	体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
8. 学 生 厚 生 援 助 費	3 000 000	厚生設備等への援助
9. 奨 学 資 金 費	3 000 000	緊急奨学金
10. 会 報 発 行 費	3 000 000	後援会広報誌の作成(2回)
11. 新 入 生 研 修 行 事 費	2 100 000	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運営費	7 730 000	
12. 事 務 費	4 400 000	人件費、事務委託費、消耗品費
13. 会 議 費	1 400 000	理事会、評議員会
14. 印 刷 ・ 通 信 費	500 000	通知、案内の郵送、印刷代
15. 旅 費 ・ 交 通 費	1 200 000	地方評議員、役員の旅費
16. 備 品 費	200 000	後援会関係の備品、什器
17. 雑 費	30 000	振込手数料等
予備費	1 000 000	
特別会計	2 000 000	
18. 後 援 会 基 本 積 立	0	
19. 記 念 事 業 費 積 立	1 000 000	大学創立記念事業協力
20. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	1 000 000	学生事故対策として1,000万円まで積立
21. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小 計	57 800 000	
次年度繰越金	6 933	
支出の合計	57 806 933	

正課外教育援助費内訳

科 目	平成12年度予算	援 助 対 象
正課外教育援助費	29 570 000(円)	
課外活動援助費	27 570 000	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用。(オ)は強化指定団体制度により運用
(ア)学 団 連 援 助	(14 000 000)	学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	(1 170 000)	学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一 般 援 助	(8 700 000)	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学 生 行 事 援 助	(1 000 000)	スプリング・フェスティバル、水泳大会、ミュージック・フェスティバル等
(オ)団 体 強 化 援 助	(900 000)	強化指定団体
(カ)そ の 他 の 援 助	(1 800 000)	シャトルバス援助
学 生 顕 彰 費	700 000	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学 生 生 活 指 導 費	1 300 000	リーダー教育、救命法講習会受講料援助、学生の国際交流指導、就職活動援助等

平成12年度 役員・評議員

役員(敬称略)

会 長	中 山 安 男	環境情報(新)	理 事	名 畑 博 之	経 営(再)
副 会 長	安 部 實 建	建 築(再)	理 事	北 村 義 次	工礼ギ-基礎(再)
副 会 長	漆 原 道 生	建 築(新)	理 事	豊 田 喜 夫	環 境 情 報(再)
理 事	潮 恵 次	電 気 工 学(再)	理 事	堀 江 正 直	土 木(再)
理 事	谷 口 正 克	機 械 工 学(再)	理 事	原 澤 孝 夫	経 営(再)
理 事	落 合 悟	電 気 工 学(再)	理 事	谷 口 育 生	工礼ギ-基礎(再)
理 事	橋 本 慶 隆	電 気 工 学(再)	理 事	久 保 木 伸 浩	機 械(新)
理 事	後 藤 克 彦	土 木(再)	理 事	川 端 隆 司	電 気 電 子(新)
理 事	黒 須 征 男	経 営 工 学(再)	理 事	小 田 俊 理	経 営(新)
理 事	鈴 木 誠 治	機 械(再)	理 事	吉 川 秀 二	工礼ギ-基礎(新)
理 事	鎗 居 秀 禎	機 械(再)	理 事	飯 尾 紀 直	環 境 情 報(新)
理 事	藤 井 道 也	機 械 シ ス テ ム(再)	会 計 監 査	高 橋 佑 太 郎	電 気 工 学(再)
理 事	三 宅 ヨ シ ノ リ	電 気 電 子(再)	会 計 監 査	藤 田 豊 比 古	電 子 通 信(新)
理 事	山 田 亨	電 子 通 信(再)		
理 事	小 林 昭 夫	電 子 情 報(再)	顧 問	堀 川 清 司	学 長
理 事	木 村 憲 司	土 木(再)	顧 問	海 老 原 大 樹	教 授

評議員(敬称略)

梅 原 二 郎	京 都 府	機 械 工 学(再)	森 下 圭 太	静 岡 県	電 気 電 子(再)	置 田 泰 和	神 奈 川 県	機 械(新)
谷 公 士	東 京 都	電 気 工 学(再)	伊 藤 誠 一	東 京 都	電 子 通 信(再)	川 村 潤	東 京 都	機 械(新)
波 藤 雅 俊	東 京 都	電 気 電 子(再)	江 本 豊 海	神 奈 川 県	電 子 通 信(再)	高 島 和 憲	東 京 都	機 械(新)
花 村 嘉 彦	東 京 都	生 産 機 械 工 学(再)	斉 藤 俊 幸	神 奈 川 県	電 子 情 報(再)	阿 部 栄 一	神 奈 川 県	機 械 シ ス テ ム(新)
四 方 英 雄	千 葉 県	電 気 電 子(再)	塚 谷 清 博	石 川 県	土 木(再)	原 田 洋 一	高 知 県	機 械 シ ス テ ム(新)
桜 井 武	神 奈 川 県	電 子 通 信(再)	打 本 幸 雄	石 川 県	経 営(再)	福 吉 正 昂	東 京 都	機 械 シ ス テ ム(新)
森 元	富 山 県	電 気 工 学(再)	和 田 一 男	埼 玉 県	経 営(再)	井 上 博	神 奈 川 県	電 気 電 子(新)
前 田 房 夫	神 奈 川 県	建 築(再)	濱 田 陽 敏	神 奈 川 県	環 境 情 報(再)	神 山 次 郎	東 京 都	電 気 電 子(新)
多 胡 護	岡 山 県	機 械(再)	太 田 秀 夫	東 京 都	機 械(再)	高 橋 渡	東 京 都	電 子 通 信(新)
大 石 隆 重	埼 玉 県	機 械 シ ス テ ム(再)	齋 藤 文 彦	東 京 都	機 械 シ ス テ ム(再)	和 田 守	山 梨 県	電 子 通 信(新)
南 山 外 喜 男	石 川 県	機 械 シ ス テ ム(再)	濱 雅 生	三 重 県	機 械 シ ス テ ム(再)	辻 定 彦	神 奈 川 県	電 子 情 報(新)
一 柳 泰 義	香 川 県	電 気 電 子(再)	豊 後 博 己	兵 庫 県	機 械 シ ス テ ム(再)	与 那 原 正	沖 縄 県	電 子 情 報(新)
豊 田 宜 臣	千 葉 県	電 子 通 信(再)	今 田 武 男	山 口 県	電 子 通 信(再)	十 河 護	香 川 県	建 築(新)
柳 澤 文 夫	長 野 県	電 子 通 信(再)	小 田 淳 一	栃 木 県	電 子 通 信(再)	佐 丸 雄 治	神 奈 川 県	土 木(新)
堀 田 正	新 潟 県	建 築(再)	石 原 昌 司	沖 縄 県	電 子 情 報(再)	長 滝 一 雄	長 野 県	土 木(新)
北 本 正 義	広 島 県	土 木(再)	齊 藤 淳 三	千 葉 県	電 子 情 報(再)	山 崎 郁 太 郎	千 葉 県	経 営(新)
遠 山 智 一	埼 玉 県	土 木(再)	村 田 昌 彦	富 山 県	電 子 情 報(再)	酒 寄 光 男	栃 木 県	経 営(新)
三 宅 基 夫	神 奈 川 県	経 営(再)	栗 本 靖 彦	群 馬 県	建 築(再)	磯 部 義 久	静 岡 県	工礼ギ-基礎(新)
大 内 康 行	神 奈 川 県	環 境 情 報(再)	齋 藤 邦 宏	埼 玉 県	建 築(再)	岩 田 邦 男	神 奈 川 県	工礼ギ-基礎(新)
岡 部 正 彦	東 京 都	環 境 情 報(再)	石 黒 勝 利	北 海 道	土 木(再)	相 坂 功	新 潟 県	環 境 情 報(新)
村 田 統 治	東 京 都	機 械(再)	宮 代 信 英	福 島 県	経 営(再)	阿 部 賢 一	千 葉 県	環 境 情 報(新)
加 部 祥 司	神 奈 川 県	機 械(再)	林 雅 彦	東 京 都	工礼ギ-基礎(再)	岡 田 智 也	東 京 都	環 境 情 報(新)
宮 崎 和 明	神 奈 川 県	機 械 シ ス テ ム(再)	相 馬 郁 夫	神 奈 川 県	環 境 情 報(再)			
森 岡 隆 行	茨 城 県	電 気 電 子(再)	古 岡 孝	東 京 都	環 境 情 報(再)			

平成11年度「課外活動に対する補助」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

統括団体への援助

団体名	学生代表者	申請件名	援助額(円)
学生団体連合会	矢古宇 智子	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	14,000,000
同好会連合本部(24団体)	山口 裕也	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	735,000
学科研究会連合	青木 秀夫 関根 正典	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	200,000

一般補助 第1回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
学生団体連合会	矢古宇 智子	横浜祭参加人員の交通費	学生団体連合会傘下で依頼されて演奏、企画、手伝い、警備を行った団体の交通費	122,400
体育会本部	青木 武之	体育会ナイトラリー 体育会ウインドブレーカー申請	昨年同様多くの参加者が見込まれ、その運営費の補助 Mi-Tech祭の夜警における防寒具に体育会として揃った物を購入希望	230,200 133,200
放送会	野田 憲吾	映像編集の為にビデオキラーの購入	学校行事の記録・保存・編集により学生の行事参加への働きかけの一環を担いたい	144,900
Y.F.A.	佐藤 宣友	第3回MI-TECH横浜祭の企画運営費の一部補助	収入面での不安を抱えた予算計画であった為、Y.F.A.企画の一部を補助希望	150,000
M.F.A.	脇田 善幸	パソコン購入	昨年まで使用のパソコンの不調により、広報活動に支障をきたしている	144,900
自動車部	近藤 博文	部車修理のため	5月30日の練習会にて部車が多重クラッシュにより破損。9月の本大会出場の為修理が必要	30,000
写真部	鈴木 晃子	6月に行う学外写真展の諸経費	6月に工学部、環境情報学部合同の写真展を学外に会場をレンタルして行う。規模の大きなものとなる為補助が必要	40,000
鉄道研究部	松島 修一郎	横浜祭参加経費の補助	横浜祭で模型の運転体験を行ったが、既存の制御機器の容量不足と老朽化で使用不可となり新規購入した。	60,000
ラジオクラブ	亀井 茂人	ハムフェア 99出展参加	年に一度の大イベントであるアマチュア無線フェスティバル「ハムフェア 99」出展参加に伴う補助	36,000
硬式野球部	内山 孝文	東都大学野球連盟春季リーグ戦での活躍	左記の大会で4部リーグ優勝。3部4部の入替戦に出場決定。今季も3季連続優勝。	100,000
水泳部	永井 誠一郎	第27回六大学対抗戦に対する補助	本年度左記大会の当番校(主催)の為、会場設備老朽化により備品購入必要	27,300
アイスホッケー部	小野 元宏	練習の為にリンク代	新横浜プリンスホテルスケートセンターにて週2-3回練習のリンク使用料及び交通費の負担補助	450,000
弓道部	北本 廣平	関東理工系大学弓道定期戦 団体優勝 全関東学生弓道選手権大会個人戦 決勝進出	左記の大会で団体優勝を果たし、前々回第3位、前回準優勝と、三年連続入賞を果たした。 関東最大規模である左記大会に電子通信工学科4年久保誠一が決勝へ進出	10,000 10,000
スカイスポーツ同好会	三宅ヨシタカ	スポーツ安全保険の補助	部員の安全を考慮し保険に加入しているが個人負担が大きすぎる為	54,000
漫画アニメ同好会	重永 武志	展示用支柱及びボード購入費の補助	展示用ボード向上の為、製作に要する備品購入の補助	20,000
合計	15団体		17件	1,762,900

一般補助 第2回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
学生団体連合会	矢古宇 智子	粗大ゴミ回収に関する費用	各部活動団体の抱える粗大ゴミの処理は、校内美化に大いに貢献し、その回収費用の補助	240,000
体育会本部	青木 武之	トランジスタ・メガホン購入の為の補助 トランシーバーの購入の為の補助	トランジスタ・メガホンの故障により各行事に大変支障をきたした為購入。その補助 各行事で警備や伝達に必要なトランシーバーを所有していない為10台購入希望	21,777 136,500
新聞会	平井 泰嗣	編集作業用パソコンリース費用に対する補助 取材用デジタルカメラ新規購入に対する補助	昨年度より後援会の補助によるパソコンリースの継続。このリース継続により今の編集効率を維持できるものと確信する。 学内情報新聞「Mitwork」の紙面作成効率向上の為には、両キャンパス間で多用しているe-mailにおいて非常に楽に写真の添付ができるデジタルカメラが必要	104,580 74,025
自動車部	高戸 良志文	第3回関東学生対抗軽自動車6時間耐久レースにおいて破損箇所の補修	左記レースにおいて損傷した部品の交換が必要不可欠。また、来年度の上位入賞に向けダートトライアルの練習会の為の走行会費の補助	200,000
鉄道研究部	松島 修一郎	電車とバスの博物館におけるNゲージ大運動会	恒例の夏休みイベントNゲージ大運動会を行い、当部所有の大レイアウトで例年を上回る入場者に大盛況であった。駅ポスターには「武蔵工業大学鉄道研究部協賛」と書かれるなど工大の知名度を高めた。	100,000

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
天文研究会	中村 宗一	プラネタリウム用補助投影装置制作費の補助	MI・TECH祭、横浜祭でのアンケートで要望の多かった惑星・星座絵等の補助投影装置の製作を決定。当会の年間予算では困難な製作費の補助	130,000
硬式野球部	内山 孝文	東都大学野球リーグ戦にて3部昇格、3・4部入替戦強化費	左記リーグ戦にて3部昇格を果たす。3部残留の為に強化に必要な道具類購入の補助	100,000
ワンダーフォーゲル部	名畑 泰宏	赤十字救急法救急員養成講習会への参加費	万一に備え必要な救急法の講習会の受講はより安全な合宿の為に必要不可欠。その参加費の補助	11,200
		連盟主催のリーダー講習会への参加費	山岳を想定した事故対策、医療講習を行うリーダー講習会の参加を、我が部ではリーダーになる為の条件として義務づけている。その参加費の補助	75,000
		平成11年度の部活動に対してかける保険代	万一事故が発生した場合に応じ、部員全員に対し今年度の部活動に対して東京海上の普通傷害保険に加入	51,240
バスケットボール部	渡辺 徹	関東男子学生バスケットボール理工系リーグ戦にて1部昇格	2部に降格した昨年より1部昇格を目標に練習を重ね6月27日入れ替え戦にて1部昇格	100,000
		大阪工業大学定期戦費用の補助	左記大学定期戦を今年は大阪にて開催。交通費を自己負担する為、その他の経費の補助を希望	29,200
ラグビー部	赤澤 卓真	理工系リーグ大会優勝	左記の大会で優勝となった	100,000
アイスホッケー部	小野 元宏	東京都理工系リーグ優勝	東京都理工系リーグ優勝に対して	100,000
ヨット部	直井 隆行	ヨット試乗会の開催に対して	ヨット試乗会の運営に掛かる費用の補助	60,000
洋弓部	新井 啓悦	春季リーグ戦の強化練習の的、及び射場使用料	室井健一郎が理工系新人戦において個人戦2位(80人中)理工系定期において我々は3位(12校中)2部昇格を目指し公共の有料練習場での使用料の補助	50,000
アメリカンフットボール部	竹越 清宏	秋季リーグ戦及びその準備に多額の資金必要	MITロゴ使用不可によるユニフォーム新調費、秋季リーグ戦出場によるチケット代、登録費、大会会場設営に伴う運搬費等、多額の資金が必要な為	150,000
陸上競技部	田倉 健彦	部の活動において必要な器具の申請	部の活動に必要な器具が現在部になく、その補助	53,130
ゴルフ部	福岡 大城	平成11年度関東大学対抗春季E・F・Gブロック対抗戦Gブロック準優勝	左記の大会において準優勝をとり、その結果GブロックからFブロックへ昇格	50,000
		平成11年度関東大学対抗秋季E・F・Gブロック対抗戦Fブロック優勝	左記の大会において完全優勝をとり、その結果FブロックからEブロックへ昇格	100,000
スカイスーツ同好会	三宅ヨシタカ	99年スポーツ安全保険について	ハングライダー・パラグライダーは危険なスポーツの為、万一を考慮し保険に加入。学生は個人で、他の保険にも加入しており、負担軽減の為申請	49,500
		全日本学生パラグライダー選手権出場	左記大会にて水島仁4位、川中子悠助14位(53人中)の好成績を収めた。長野での開催により交通費等、経費がかかる為申請	50,000
		99年パラグライダー大会 in OSA出場	遠隔地(岡山)での開催で交通費、宿泊費等個人負担が大きく今後参加しやすいように補助申請。	10,000
機親会	青木 秀夫	マイルジマラン出場結果及び次期省エネカー製作に対して	昭和シェル石油CAR GRAPHICマイルジマランにおいて自己記録を更新(483.9km/l)大学部門9位(87チーム中)51位(437チーム中)	100,000
合計	18団体		26件	2,246,152

一般補助 第3回分

団体名	学生代表者	申請件名	申請理由	援助額(円)
新聞会	中園 義盛	ラグビー部の全国大会出場に対する取材	学内新聞「Mitwork」にラグビー部全国大会出場の記事記載の為、会場の名古屋への取材費	64,380
吹奏楽団	勝山 正紀	国際交流チャリティーコンサート出演	定期演奏会等で団員の出費負担が多く、今回の国際交流チャリティーコンサートの出演に際する人員の交通費及び楽器の運搬費等の補助希望	43,000
MFA.	亀井 寛之	パソコン用プリンタの購入	パソコン用プリンタの故障。部品の交換も試みたが復旧のメドがたらず活動に支障をきたしている。円滑な学園祭の運営にプリンタは必要	86,079
YFA.	猿田 友	PCサーバ購入に関する補助	2000年横浜祭では従来の広報活動に加えホームページ上での情報展開を重視。サーバ構築の独自の設備を有していない為補助希望	44,100
		皿保管、運搬に使用する備品購入に関する補助	DRP実施にあたり大量の皿の保管にYFAの部室を使用。横浜祭では部室使用頻度が高い為皿の整理が必要。その補助	63,000
自動車部	高戸 良志文	エビスサーキット学生祭4時間耐久レースにおいて予選1位から大会新記録で優勝	左記レースで優勝したが今後も好成績を収める為の練習会参加費用の補助、および大会出場の諸経費の補助希望	50,000
鉄道研究部	菊池 桂一郎	機関誌「スチールカー学祭号」の製作及び発行	機関誌「スチールカー学祭号」を学祭にて無料で配布。コンピュータによる編集など高画質のため昨年以上の費用がかかった	50,000
モーターサイクル部	福島 太郎	1999年度ホンダキャンパスオフロードレース全国大会出場費	学校対抗の左記大会参加は武蔵工大をアピールするのに適し、多くの参加者を募り参加。その為経費もかき補助希望。アリアクロス(大学対抗レース)にも参戦。3位入賞を果たした	50,000
ワンダーフォーゲル部	名畑 泰宏	関東連盟主催のリーダー講習会の参加費	山岳を想定した事故対策、医療講習を行うリーダー講習会の参加費の補助。我が部ではこの講習会参加をリーダーになる為の条件として義務づけている	60,000
ラグビー部	赤澤 卓真	全国地区対抗ラグビーフットボール大会出場	地区予選において全勝優勝。全国大会に出場となり、交通費、宿泊費等の補助	1,500,000
ソフトボール部	露木 直行	グラウンド確保の為	武蔵工業大学のグラウンドが使用できない為、練習に支障をきたしている。練習環境を整える為にもグラウンドの確保を最優先したく補助希望	110,000
ゼフィルススキークラブ	矢野 貴之	保険金、連盟加入、大会参加費の補助	スキー用品、合宿費等部員の個人負担が多い為保険金、連盟加入、大会参加費用の援助希望	26,000
合計	11団体		12件	2,146,559

平成12年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

全国26ヶ所で開催

後援会と大学の共催により平成12年度「大学と父母との連絡会」を下記の26会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

平成12年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	時間	会場と所在地（電話番号）
札幌	9月3日(日)	開催 10:00～12:00	札幌東急イン 北海道札幌市中央区南4西5-1 (011-531-0109)
盛岡	9月9日(土)	開催 10:00～12:00	ホテルメトロポリタン盛岡 岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44 (019-625-1211)
仙台	9月10日(日)	開催 10:00～12:00	ホテル仙台プラザ 宮城県仙台市青葉区本町2-20-1 (022-262-7111)
郡山	9月9日(土)	開催 10:00～12:00	ホテルハマツ 福島県郡山市虎丸町3-18 (024-935-1111)
宇都宮	9月10日(日)	開催 10:00～12:00	宇都宮ステーションホテル 栃木県宇都宮市駅前通り2-1-8 (028-637-0111)
水戸	9月10日(日)	開催 10:00～12:00	ホテルシーズンズ 茨城県水戸市桜川1-9-6 (029-227-0008)
東京	9月30日(土)	学内見学希望 10:15 見学未希望 12:00	武蔵工業大学 工学部 東京都世田谷区玉堤1-28-1 (03-3703-3111)
横浜	9月30日(土)	開催 10:30～14:00	武蔵工業大学 環境情報学部 横浜市都筑区牛久保西3-3-1 (045-910-2500)
高崎	9月9日(土)	開催 10:00～12:00	高崎アーバンホテルナポリ 高崎市八島町58-1 (027-322-0111)
新潟	9月10日(日)	開催 10:00～12:00	新潟東急イン 新潟県新潟市弁天1-2-4 (025-243-0109)
甲府	9月10日(日)	開催 10:00～12:00	ホテル談露館 山梨県甲府市丸の内1-19-16 (055-237-1331)
松本	9月9日(土)	開催 10:00～12:00	松本グリーンホテル 長野県松本市深志1-5-14 (0263-35-1277)
長野	9月10日(日)	開催 10:00～12:00	ホテルメトロポリタン長野 長野県長野市南石堂町1346番地 (026-291-7000)
静岡	9月9日(土)	開催 10:00～12:00	静岡第一ホテル 静岡県静岡市泉町1-21 (054-281-2131)
浜松	9月10日(日)	開催 10:00～12:00	オークラウトシティホテル浜松 静岡県浜松市坂屋町111-2 (053-459-0111)
金沢	9月2日(土)	開催 10:00～12:00	金沢東急ホテル 石川県金沢市香林坊2-1-1 (076-231-2411)
富山	9月3日(日)	開催 10:00～12:00	名鉄トヤマホテル 富山県富山市桜橋通り2-28 (076-431-2211)
大阪	9月2日(土)	開催 10:00～12:00	リーガロイヤルホテル 大阪府大阪市北区中之島5-3-68 (06-6448-1121)
名古屋	9月3日(日)	開催 10:00～12:00	名古屋国際ホテル 愛知県名古屋市中区錦3-23-3 (052-961-3111)
高知	9月2日(土)	開催 10:00～12:00	ホテルザンルート高知 高知県高知市北本町1-1-28 (088-823-1311)
高松	9月3日(日)	開催 10:00～12:00	オークラホテル高松 香川県高松市成東町1-9-5 (0120-595-035)
広島	9月2日(土)	開催 10:00～12:00	リーガロイヤルホテル広島 広島県広島市中区基町6-78 (082-502-1121)
岡山	9月3日(日)	開催 10:00～12:00	岡山国際ホテル 岡山県岡山市門田本町4-1-16 (086-273-7311)
鹿児島	9月2日(土)	開催 10:00～12:00	城山観光ホテル 鹿児島県鹿児島市新照院町41-1 (099-224-2211)
福岡	9月3日(日)	開催 10:00～12:00	ホテルステーションプラザ 福岡県福岡市博多区博多駅前2-1-1 (092-431-1211)
那覇	7月16日(日)	開催 10:00～12:00	ホテル 西武オリオン 沖縄県那覇市安里1-2-21 (098-866-5533)